

第6次八潮市総合計画基本構想について

第6次八潮市総合計画基本構想については、2月号で「将来都市像」「まちづくりの基本理念」「計画人口」「土地利用構想」を紹介しましたが、3月号では「分野別将来目標」について紹介します。分野別将来目標とは、将来都市像である「住みやすさナンバー1のまち 八潮」の実現に向けて、関連する課題ごとに設定した分野において、それぞれが掲げる将来目標となっています。

問企画経営課 ☎885

第1章 子育て・教育・文化

○誰もが輝き心豊かに暮らせるまち

安心して子どもを産み育てられるよう、地域における子育て環境を整備し、子育てがしやすいまちを目指します。

次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばせるように支援するとともに、市民が生きがいをもって暮らせるよう、気軽に学習活動や文化活動を行うことができる環境づくりを進め、あらゆる世代が互いに高め合いながら心豊かに暮らせるまちを目指します。

また、ダイバーシティ社会の実現に向け、年齢や性別などに関わらず、誰もが安心して自分らしく暮らせるまちを目指します。

第2章 健康・福祉

○みんなで支え合い誰もが

いきいきと暮らせるまち

高齢者や障がいがある人などの誰もが健やかで心豊かに自分らしい生活を送ることができるよう、主体的な健康づくりを支援するとともに、誰もがスポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくりや医療、保健、福祉の連携と充実など、心身ともに健康で安心して暮らし続けられるまちを目指します。



第3章 防災・防犯・消防

○強くしなやかな安全で安心して暮らせるまち

あらゆる危機や災害から市民を最大限守るため、市民一人ひとりの意識の醸成と自分の身を守るために必要な知識や技術の習得を支援するとともに、日頃から防災・減災に向け、市民、地域、企業、行政が連携し、お互いに支え合い、助け合うコミュニティを構築することで、地域の安全を守るとともに、犯罪や事故のない、誰もが「安全・安心」に暮らせるまちを目指します。



第4章 産業経済・観光

○魅力と活力に満ちたにぎわいあふれるまち

農業、商業、工業、観光などの産業領域において、それぞれの状況に応じた担い手、人材の育成・確保のための各種支援、市内の優れた製品などを市内外に情報発信することや産学官連携による新たな価値の創造などに取り組み、競争力の高い産業づくりを目指します。

また、都心に近接した交通利便性の良さや水辺などの美しい自然環境などの恵まれた地域の特性を活かすことで、交流人口や関係人口の拡大を図り、人々が行き交うにぎわいと活力のあるまちを目指します。

第5章 都市基盤・環境

○良好な環境で快適に暮らせるまち

道路、公園、上下水道などの都市基盤及び公共交通の整備や自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みを形成し、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らせる環境を目指します。

また、本市において将来的に予測される人口減少や更なる高齢化を見据えた都市空間や住環境の整備を進め、豊かな自然と共生する、持続可能で誰もが快適に暮らせるまちを目指します。



第6章 コミュニティ・自治体経営

○未来につながるまちづくり

互いを思いやり、理解し、助けあいながら、安心して自分らしく暮らすことができるコミュニティを形成し、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にするまちを目指すとともに、性別などによらず、多様なまちづくりの主体が地域の課題を共有し、それぞれの特性を活かしながら、協働によるまちづくりを推進します。

また、本市の特色や魅力を効果的に発信することで、地域の活性化や更なる都市イメージの向上を目指します。

さらに、複雑化・多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応するため、デジタル・トランスフォーメーション(DX)やアセットマネジメントの推進、民間活力の導入など、限られた経営資源の中で費用対効果を十分に見極め、健全で効率的な自治体経営を推進し、持続可能なまちづくりを目指します。



市の財務書類を作成

市の財政状況を分かりやすくお知らせするため、令和6年度の連結財務書類を作成しました。

連結財務書類は財政の効率化・適正化を推進するため、総務省から示された「統一的な基準による公会計マニュアル」に基づき、企業会計の手法を用いて決算の状況をまとめたものです。

問財政課 ☎477

令和6年度決算の連結貸借対照表を簡略化すると次のようになります。詳しくは、後日ホームページで公開します。

資産の部

項目	内容	金額
有形・無形固定資産	庁舎、学校、道路、ソフトウェアなど	1,675億円
投資その他の資産	出資金、基金など	97億円
流動資産	現金・預金など	180億円
資産合計		1,952億円

負債・純資産の部

項目	内容	金額
負債	地方債(借入金)など	950億円
純資産 (うち当期利益)	純資産 = 資産 - 負債	1,002億円 (14億円)
負債・純資産合計		1,952億円

八潮市役所 ☎996-2111 市外局番は(048)です

☎日時・期間 ☎場所 ☎対象 ☎内容 ☎持ち物 ☎定員 ☎費用(記載がない場合は無料) ☎申し込み ☎問い合わせ